# 新型コロナワクチン職域接種(第1・2回) 副反応疑いアンケート集計結果



## 本調査について

**目的** 本学学生における新型コロナワクチン接種後の副反応疑いに関する調査を行う

対象 城西大学・城西短期大学所属学生のうち、第1回・第2回ワクチン職域接種の希望者 有効回答は1095件(第1回945件、第2回150件)

#### 有効回答の内訳

第1回	18-19歳	20-29歳	30-39歳	計
男性	175人	410人	3人	558人
女性	82人	274人	1人	357人
計	257人	684人	4人	945人

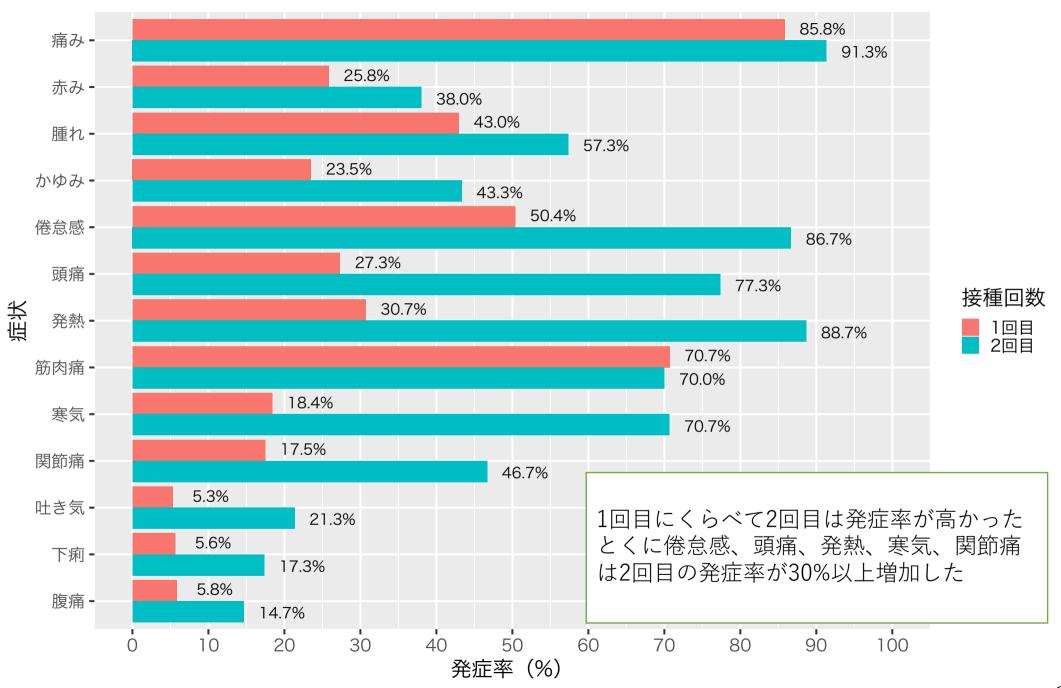
第2回	18-19歳	20-29歳	30-39歳	計
男性	23人	69人	2人	94人
女性	14人	42人	0人	56人
計	37人	111人	2人	150人

**方法** 第1回職域接種は9/1~9/7、第2回は9/29~10/5に行われた。 モデルナ社製ワクチン接種日から8日間、副反応の有無を記録し、 Microsoft Formsで回答した

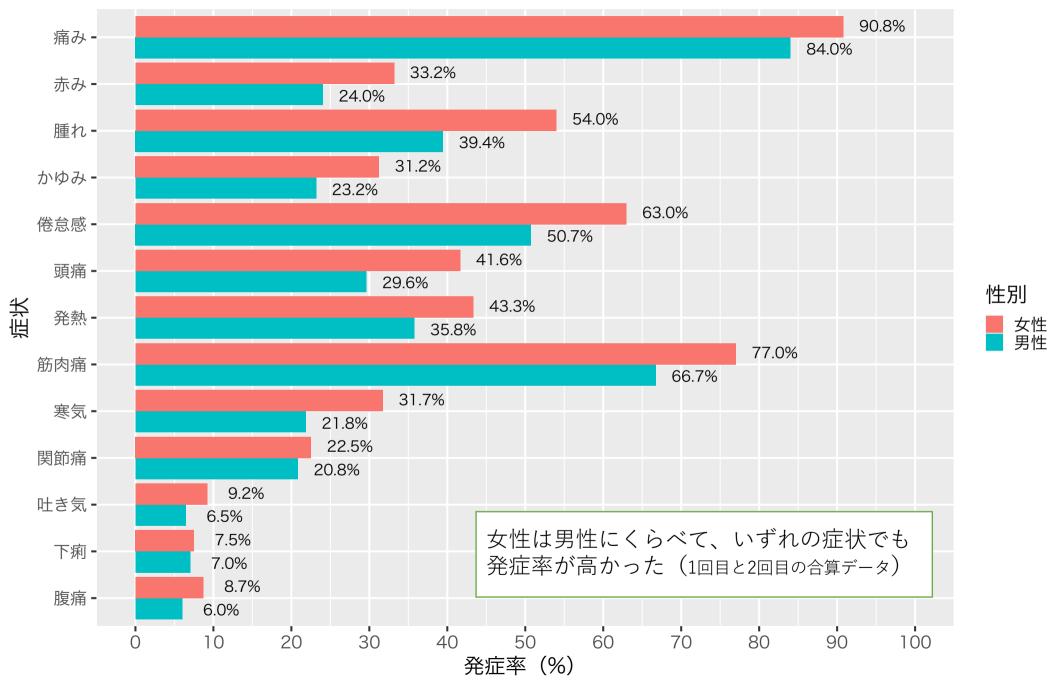
解析 発症率を算出し、性差や経過日数の比較を行なった

備考 本調査は日本医療科学大学との共同研究として実施した

### 接種回ごとの副反応発症率

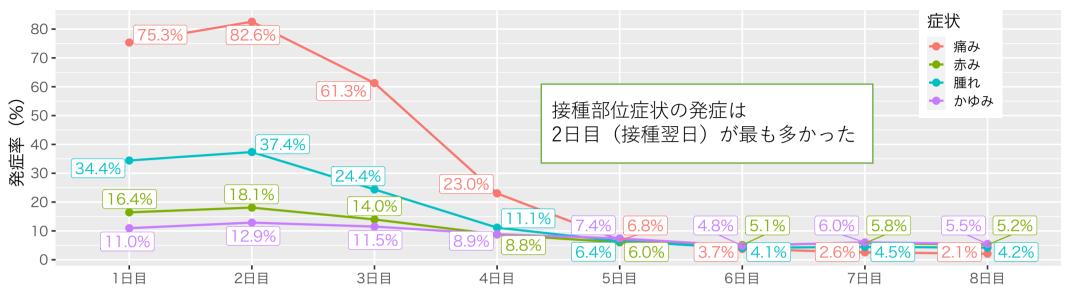


### 性別ごとの副反応発症率

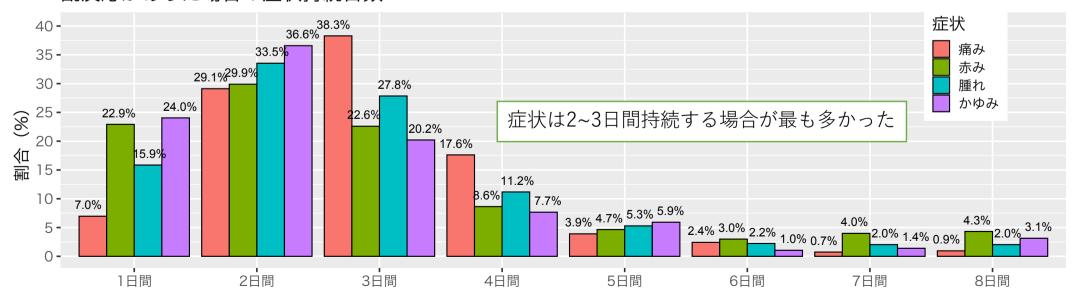


### a.接種部位の症状 (1回目・2回目の合算データ)

#### 経過日数ごとの副反応発症率

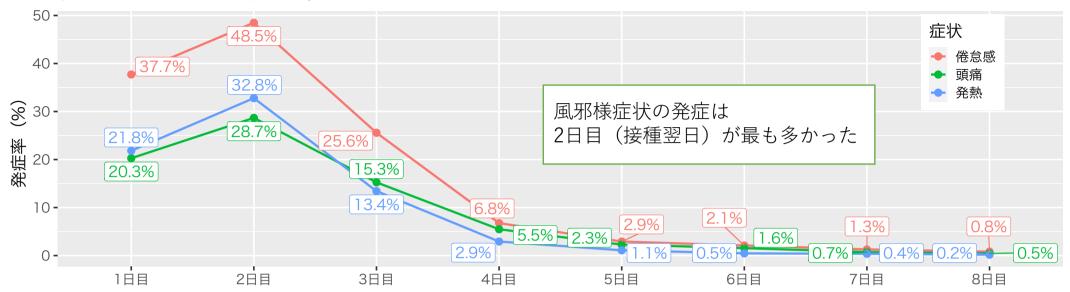


接種当日を1日目とする

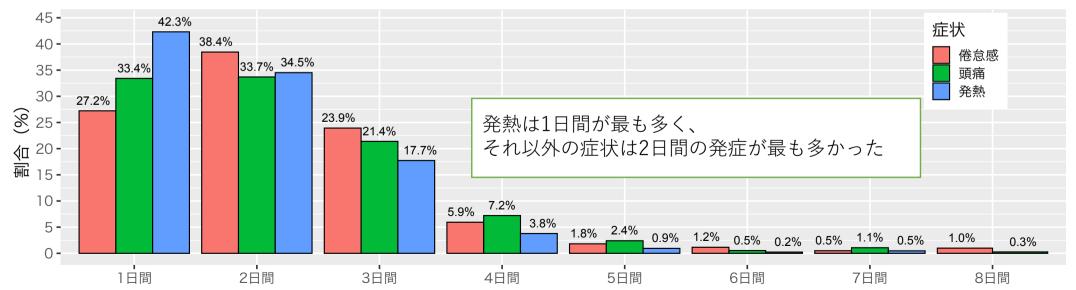


### **b.風邪様の症状** (1回目・2回目の合算データ)

#### 経過日数ごとの副反応発症率

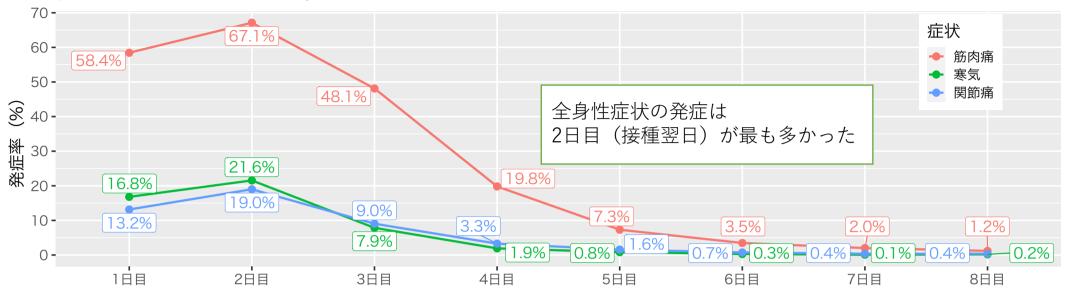


接種当日を1日目とする

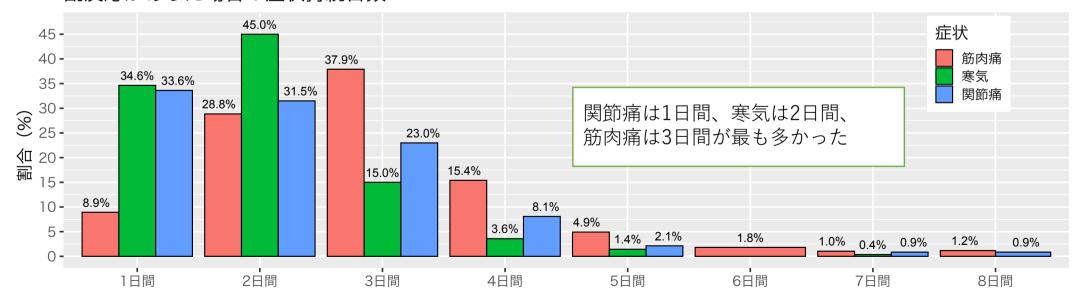


### **C.全身性の症状** (1回目・2回目の合算データ)

#### 経過日数ごとの副反応発症率

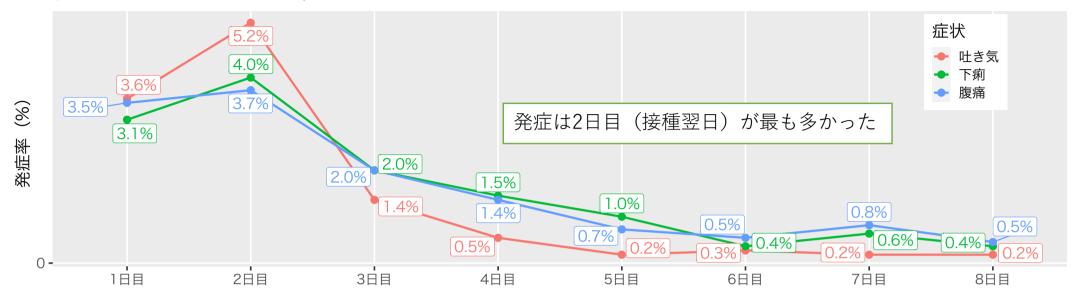


接種当日を1日目とする

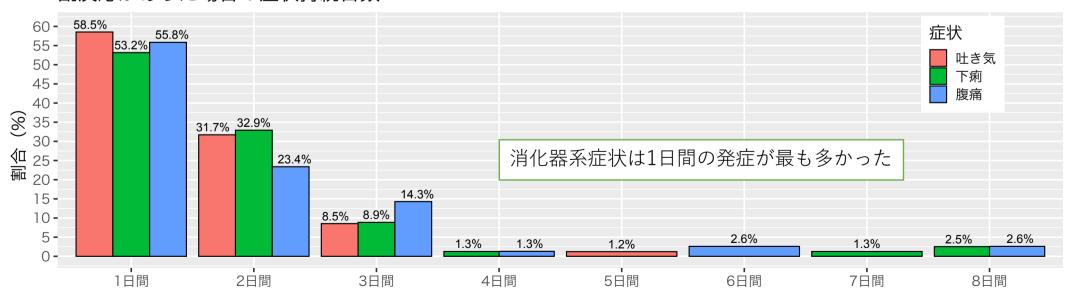


### d.消化器系の症状 (1回目・2回目の合算データ)

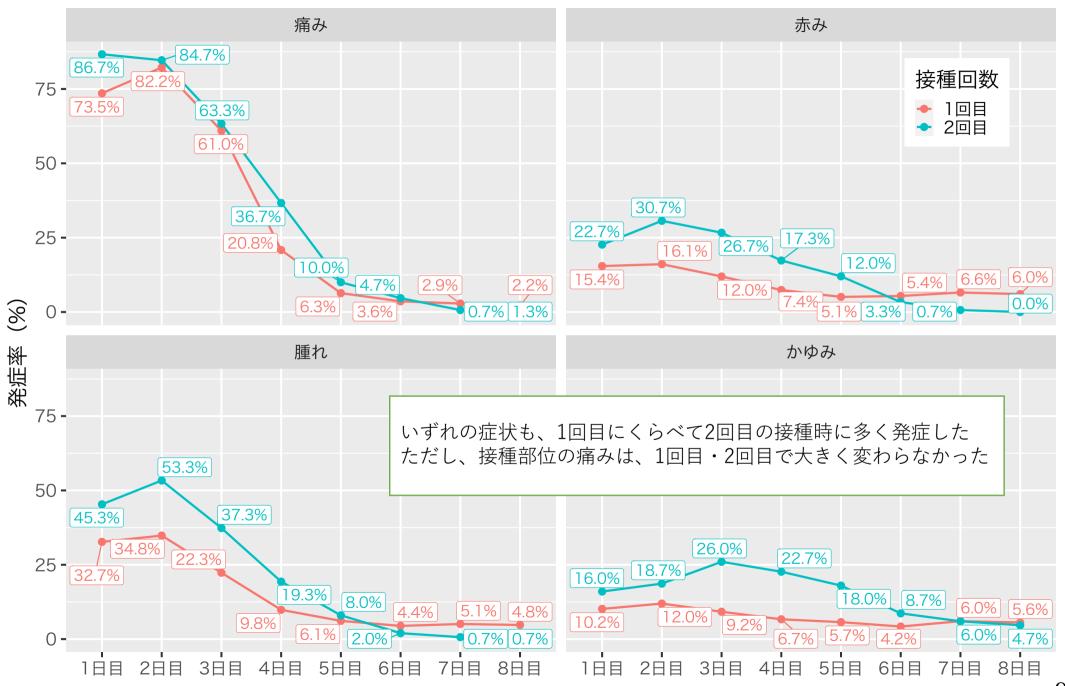
#### 経過日数ごとの副反応発症率



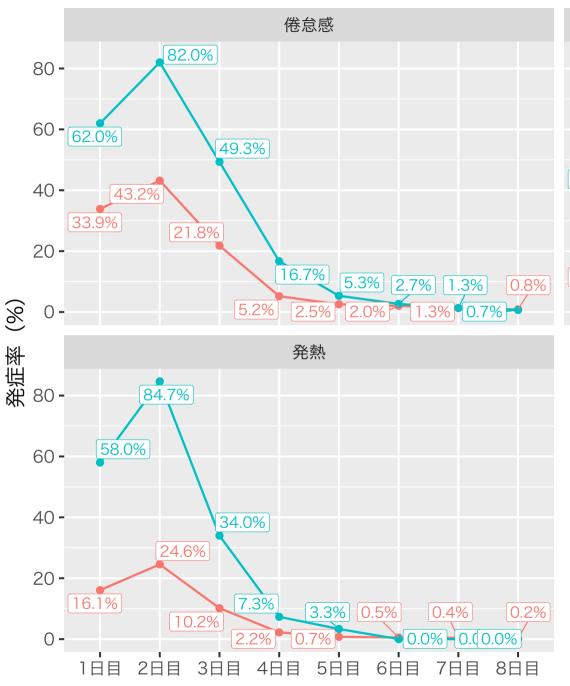
接種当日を1日目とする

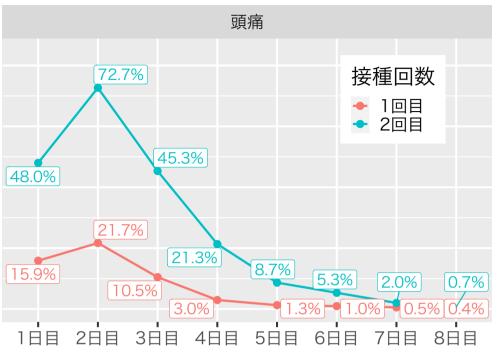


### 経過日数×接種回数ごとの副反応発症率(a)



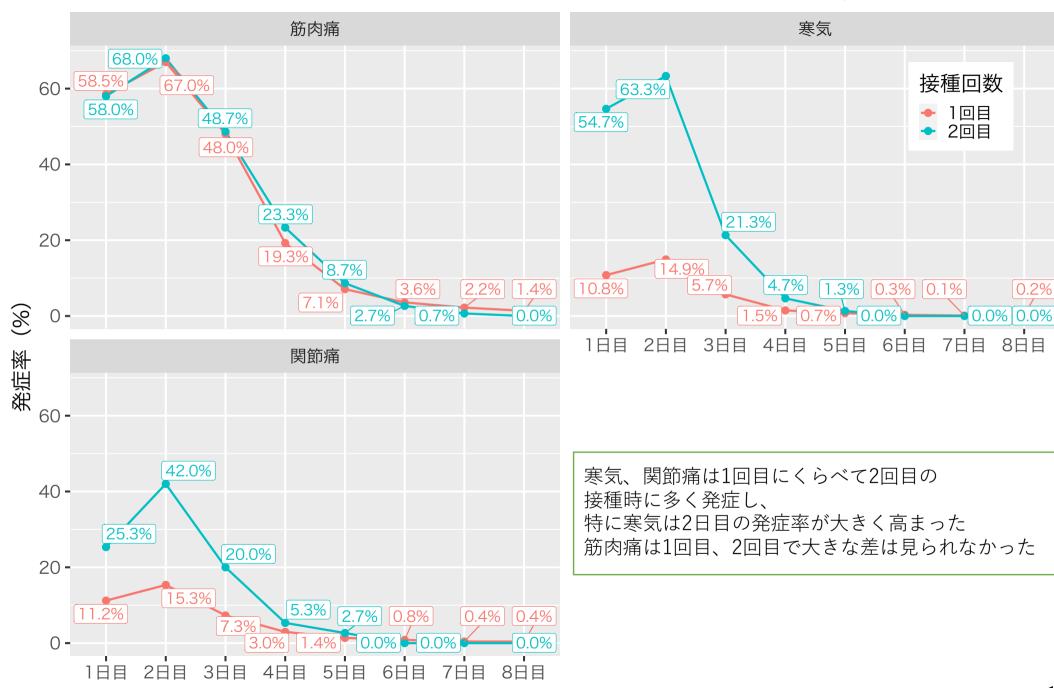
### 経過日数×接種回数ごとの副反応発症率(b)



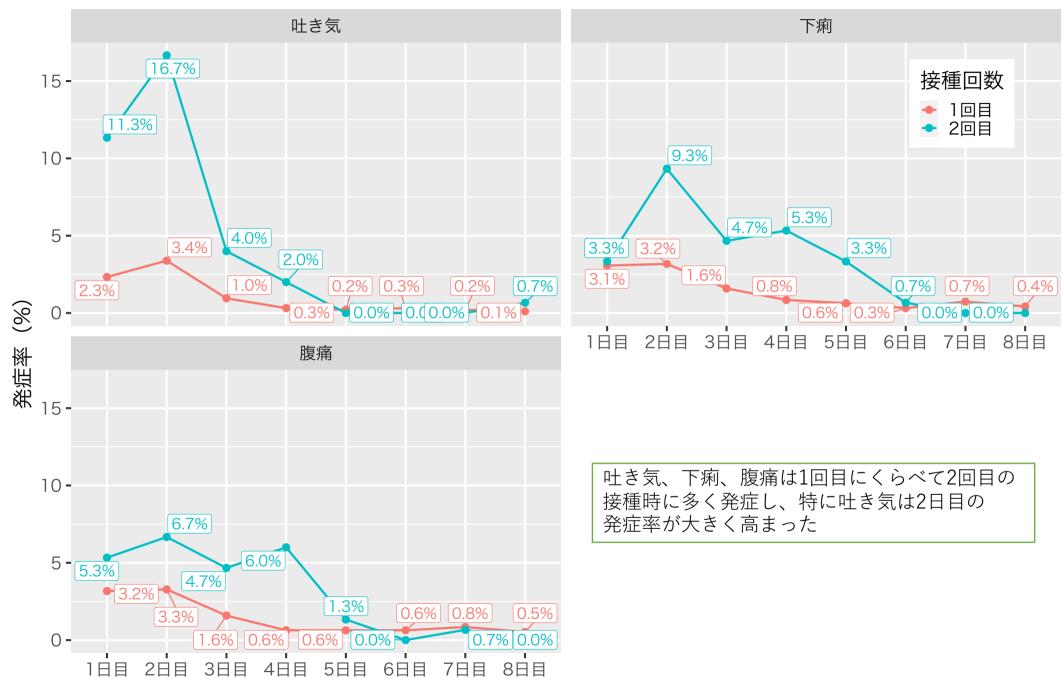


倦怠感、頭痛、発熱は1回目にくらべて 2回目の接種時に多く発症し、 特に2日目の発症率が大きく高まった

### 経過日数×接種回数ごとの副反応発症率(c)



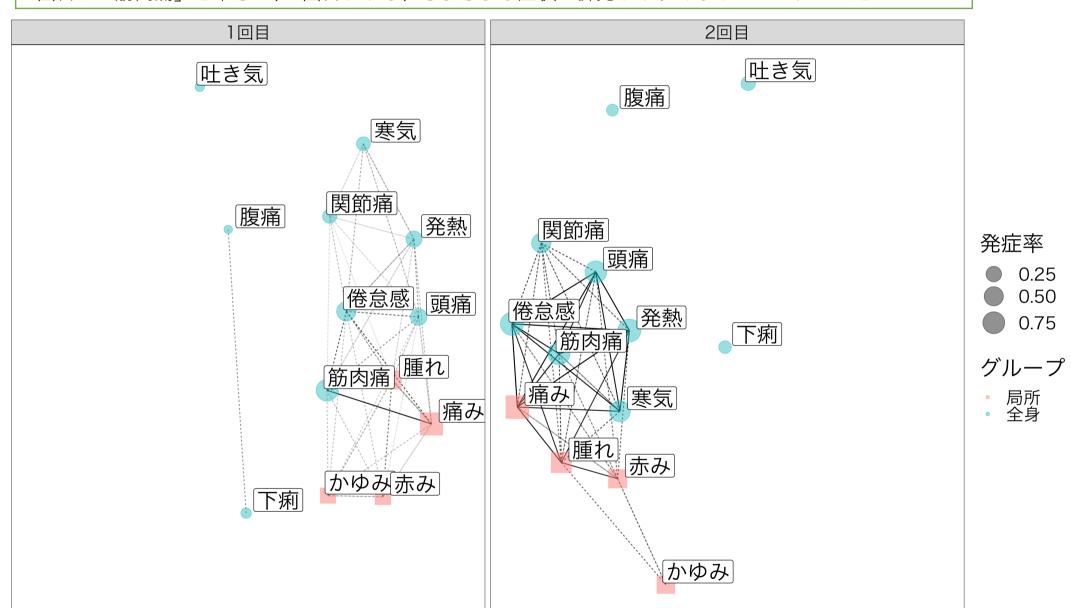
### 経過日数×接種回数ごとの副反応発症率 (d)



### 接種回数ごとの症状の併発状況(ネットワーク分析)

下図は、ネットワーク分析の結果を示す

線で結ばれた隣接する症状同士は、併発する可能性が高いことを示す(実線は点線より関連度が高い) 2回目は「筋肉痛」を中心に、1回目よりも、さまざまな症状が併発しやすくなることがわかった



作成:薬学部薬学科薬剤作用解析学研究室6年生相澤春香さん

# まとめ

- 接種1、2回目とも、最も多く観察された症状は「痛み(85.8%、91.3%)」だった
- いずれの症状も、1回目に較べて2回目の発症率が高かった
  - ・ とくに、倦怠感、頭痛、寒気、発熱、関節痛のような 風邪様の症状の発症率は、2回目に大きく高まっていた
- 男性にくらべて、女性はすべての症状の発症率が高かった
- 発症は2日目(接種翌日)が最も多かった
- 症状が5日以上持続する割合は5%未満と稀だった
- 本調査の結果は、学術雑誌「医学と生物学」に掲載予定である
- 調査によって、本学学生のワクチン接種後の副反応の実態を知ることができた特に、接種の翌日には症状が最も現れやすいので、注意が必要であるこれからワクチン接種を予定している学生は本結果を接種時の体調管理に活用してほしい
- ■お気づきの点・ご質問は、下記連絡先まで 城西大学 薬学部薬学科 薬剤作用解析学研究室 吉田 暁 (akyoshida@josai.ac.jp)